



田辺東部小学校

田辺東部小学校だより
平成27年12月号 No.264 より

― 師 走 (し わ す) ―

12月も半ばを過ぎ、平成27年(2015年)も終わりを迎えようとしています。学校では2学期のまとめも大詰めとなっています。ご家庭におかれても、一年を締めくくり、新年を迎えるために何かと忙しくなっていることでしょう。

さて、「師走」の意味は一般的に「先生(師)が走りまわる月」と言われていますが、諸説ある中で次の意味が有力です。昔は正月も盆と同じように先祖の霊をとむらう月でした。「僧侶(師)があちこちにお経をあげに走り回る月」だそうです。

― 冬休み大作戦!! ―

いよいよ今年も残すところ後わずかとなりました。子どもたちにとっては「クリスマス」や「お正月」のある冬休みがとても待ち遠しい時期ではないかと思われます。

年の瀬になりますと、どこの家でも大掃除をすることでしょう。家族全員で分担し、家の中も外もきれいに掃除して、新年を迎えたいものです。掃除は毎日していても、家族全員で隅々まで念入りに掃除することは、そうあるものではありません。一人ひとりが家族の一員として協力し合って一つのことを行うことは、大変意義のあることだと思います。家族の絆がとても大切になっている今日、家族がしっかりした家族愛で結ばれ、何事においても家族が一つになることこそが、健やかな成長の原点ではないかと思います。



― 各種作品展の入賞者の紹介 ―

◇やまなみ作文

・入賞

谷地 美紀(2年) 尾原 心(3年)
中 麻紘(3年) 庄司 蓮太郎(4年)
金谷 ゆら(4年) 西野 桜之介(5年)
狭口 ななせ(5年) 上村 ひなた(6年)
中渡瀬 ちなつ(6年)

・準入賞

柳田 尚生(2年) 植中 理彩子(4年)
大江 咲歩(5年) 狼谷 一帆(5年)

◇社会科生活科作品展

・奨励賞

藤田 陽乃(5年) 湯川 和美(5年)
上村 隼磨(5年)
小川 万智(6年) 上村 ひなた(6年)

・準奨励賞

線崎 想生(3年) 中根 怜央奈(3年)
根来 伊吹(5年) 岡田 歩夢(5年)
大門 明日香(5年) 宮崎 崇徳(5年)
楳澤 晃太(6年)

◇第9回全日本小中学生ロボット選手権

・和歌山県予選第5ブロック2位

廣畑 匡樹(6年)

◇第19回和歌山県花いっぱいコンクール

・優秀賞 田辺東部小学校

◇第33回和歌山県小学校人権の花運動

・優秀賞 田辺東部小学校



― 校 内 音 楽 会 ―

11月27日(金) 田辺東部小学校体育館で3年生から6年生までの校内音楽会を開催いたしました。体育館が満員になるほどの保護者の方々と1年生2年生のみなさんが応援してくれました。おかげ様でどの学年も練習の成果を十分に発揮して、素晴らしい歌声と演奏を聴かせてくれました。

○児童の感想より(1年生)

・むずかしいがつきをつかいこなしていたのがすごいと思いました。

・3年生ははじめてだったのにすごくじょうずにできていました。6年生はさいごのおんがくかいなので、ぜんりよくがつたわってきました。わたしも3年生になったらおにいさん、おねえさんみたいにじょうずにえんそうしたいです。

― 校内持久走記録会 ―

12月10日(木) お天気心配された持久走記録会ですが、この日はとても暖かく、最高のコンディションの中で走ることができたと思います。

○児童の感想より(5年生)

・目標を達成することができたのですごくうれしかったです。走っている時はすごくしんどかったけど、走り終わってからはすごく気持ちよかったです。練習の時でも本番だと思って本気で走っていたので結果がよかったのかなと思いました。



― 第2回文化部親子教室 ―

12月5日(土) ひがし公民館 茶木主事に火起こし等を教えていただき「かまどベンチで豚汁・焼きいもを作ろう」を行いました。約60人が参加し楽しくておいしいひとときを過ごしました。親子でたくさん参加していただき、ありがとうございました。



平成28年1月号 (2016年)

公民館だより

ひがし地区 人口および世帯数 (11月末現在)

人 口 6,382人 2,915世帯

(男 性) 3,005人

(女 性) 3,377人



編集・発行 田辺市南新万 28-1 ひがし公民館 館長：吹揚 克之 主事：茶木 晃

電話 22-2088 FAX 81-3301 田辺市ホームページ <http://www.city.tanabe.lg.jp/>

ごあいさつ

公民館長

吹揚克之

新年明けましておめでとうございます。旧年中は何かとお世話になりありがとうございました。本年も公民館活動にご理解とご協力のほどよろしくお願いします。

●今年は「丙申(ひのえ さる)」の歳。猿(さる)の絵を使ったりする。南方熊楠は『十二支考』では、「猴(こう)」の字を使っている。日本のサルを語る時は「サル」としている。「・・・本来サルなる邦名あるのにマシラなる外来語を用いるに及んだのは仏教を弘めるによったのがもちろんながら、サルは去るに聞こえるのに反して、マシラはまさるの義に通じるから」、「小学読本では必ず得手(えて)と蟹のように、「猴(こう)」の字を得手と読む」、「熊野川を船で下った時しばしば「猴」を見たが、船人はこれを野猿(やえん)または得手吉(えてきち)と称え、決して本名を呼ばなんだ」とある。『高島易』では、「丙」は草木が力強く伸長する姿。「申」は草木の果実が成熟し、慈味が固まって行く様を表す、とある。

●「お正月」の歌 作詞東くめ 作曲滝廉太郎 (『幼稚園唱歌』 明治34年刊)

「もういくつねるとお正月 お正月にはたこあげて こまをまわしてあそびましょう はやくこいこいお正月」。

明治になって、日本国民に洋楽リズムを普及させたいとして「唱歌」をつくった。当時の文言一致の考えから、歌詞は平易な日常の言葉が使われている。東(旧由比)くめは、新宮生まれの歌人。11歳の時大阪に転居。父は新宮藩の家老、由比氏である。

●昨秋わかやま国体があった。実施に合わせ紀勢自動車道が開通し、市町村の道路事情もいくらか改善した。9月には、先に世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」に加え、すさみ、日置、白浜、田辺、みなべの沿岸部が、吉野熊野国立公園に編入された。当地にとっては大変ありがたいことである。田辺市政も観光立市に向かって益々の励みになる。が、その時市民は何を心得、何をすべきかである。先日、メガネケースを京都の会場でなくした。名前を書いていたので戻ってきた。ちょっとした心遣いが人を嬉しくする。

●平成27年度第1回公民館グランドゴルフ大会実施(12月12日)

空は青空、陽はさんさんと、冬季とは思えないほどのポカポカ陽気の日でした。前半戦はグランドに湿り気があってややボールが転びにくかったが、後半戦はよく転び、前日までの雨のせいか、地面に傾斜ができていて、狙いから外れることが多かったですが、「ホールイン ワン」(ホームプレートから旗まで一打でゴールする)でリボン(特別)賞をもらった人は2人いました。優勝したのは庄司和美さんで55打、2位は宮井実さん、3位は上田忠實さんでした。上田さんと川辺弘嗣さんは、同位でしたが、「上位年齢者優先の原則」で、川辺さんは惜しくも入賞を逸しました。陽気のせいかお茶をおいしくいただきました。



第27回 新春みんなで走ろう会・歩こう会

ひがし公民館では、恒例の新春みんなで走ろう会・歩こう会を開催します。皆さまお誘い合わせの上、多数ご参加ください。

■日 時 平成28年1月3日（日） 午前9時受付 受付終了後 競技開始

※雨天の場合は、室内でペタンクを行います。

■場 所 ひがしコミュニティセンター

■入 賞 各部門3名（別途抽選会があります）

小学1年生～3年生の部、小学4年生～6年生の部、中学生・一般の部

■その他 終了後、お年玉抽選会（ビンゴゲーム）を予定しています。

■問合せ ひがし公民館（☎22-2088）



たなべ土曜講座 強みを探す旅に出よう！

～旅は自分の宝物を探すために始まる～

■内 容 各講座2時間程度 ワークを交えた体験型講座

第1回 「まずは武器を手に入れる」

- 強みを見つけるための武器「コミュニケーションスキル」
- 「学ぶ」ことで解決できることがある

第2回 「強み探しの旅に出よう！」

- 自分を知るためのアセスメント
- 対話から見えてくるもの

第3回 「強みを活かして、新しい旅が始まる」

- 本当に手に入れたいものは何か？
- 「実践」した人だけが到達できるところ



■講 師 平野 未花 catalyst プロコーチ、ファシリテーター

御坊の町屋 minorica*代表 Office Grace代表

■日 程 平成28年2月6日（土）、13日（土）、27日（土） 午後1時30分～3時30分

■会 場 市民総合センター 2階 交流ホール

■対 象 田辺市在住、在勤の方で、18歳以上の方（学生は除く）

■定 員 30名 ※定員に余りがあれば参加可

■参加費 無料

■申込み方法、お問合せ先

田辺市教育委員会生涯学習課まで電話またはE-mailでお申込みください。

☎0739-26-4925 E-mail shogai@city.tanabe.lg.jp

放送大学学生募集

放送大学はテレビ・ラジオの放送やインターネットを通して学ぶ正規の通信制大学です。大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で、いつでも、どこでも、誰でも、学びたいだけ学べる大学です。ただいま平成28年4月入学生を募集しています。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など幅広い分野を学べます。入学試験はありませんので、お気軽にお問合せください。資料のお取り寄せは無料です。

■出願期間 第1回 12月1日～2月29日

第2回 3月1日～3月20日

■お問合せ 放送大学和歌山学習センター

〒641-0051 和歌山市西高松1丁目7-20 ☎073-431-0360

E-mail wakayama-sc@ouj.ac.jp



高雄中学校

高雄中学校・学校だより

第8号 平成27年11月27日より

二学期を終えるにあたって

二学期が間もなく終わろうとしています。生徒たちは体育大会や文化発表会を成功させ、新人大会でも好成績を残してくれました。この二学期を通して、1、2年生は学校の代表として活躍できる基盤ができてきました。3年生は学校生活で得られた達成感や自信を基に進路決定に向けて着実に努力してきたように感じます。

しかし反面、気になることがあります。その一つ目は「授業を大切にしているか」ということです。時々、授業の様子を見て回ります。服装や二分前行動、授業中の姿勢、私語、無気力の様子など、どの学年にも「よっしゃ！」と言いきれない不安を私は感じています。二学期の授業日数は76日です。9月～12月の4ヶ月・約120日のうち76日の登校日ですから、平均するとなんと『2日登校して1日休み』の割合になります。76日全てが授業をした日ではありません。体育大会や文化発表会、定期テストや実力テストも含まれています。この点からも1時間1時間の授業を大切にする重要性が分かると思います。

授業態度と関連して気になる二つ目は、校内での休憩時間中のトラブルや怪我が頻繁に起こっていることです。関係生徒に事情を聞くと、どれも共通点が見られました。

①当事者は大変仲がいい。②きっかけは些細な「ふざけ・からかい」である。これだけの原因で、なぜ相手に怪我を負わせたり、自分が怪我をすることになってしまうのか。③いつもは笑ってごまかしていたが、日頃からそのような「ふざけ・からかい」をされていて腹が立っていた、我慢できなくなり手が出してしまった、また「つい遊びで」ということです。

昼休みなどに見境なくほたえたり、ローカを走り回る生徒も増えてきたように感じます。人間関係でどんな理由があっても暴力は許されません。だからこそ、「暴力を起こさせないような日頃の友達とのかかわり方」を身につけなければなりません。「ふざけ・からかい」はする方の言い分で、される方は大きなストレスになります。授業中の私語など、人に迷惑をかけることも同様です。日頃、自分は友達に対し、どんなことを言い、どんなことをしているのか、仲間とのかかわり方について振り返ってみてください。

冬休み、そして新年、卒業・進級の三学期を迎えます。皆さん一人ひとりがこの二学期を振り返り分析し、良かった点と反省点を明確にして三学期に備えてほしいと思います。

各ご家庭でも、ぜひお子様と共に二学期の生活を振り返っていただきたいと存じます。そして三学期も学校とご家庭が連携を密にしながら、生徒たちの挑戦を支援してまいりたいと思いますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。二学期を終えるにあたり、保護者の皆様、地域の皆様のご理解ご協力に心より感謝申し上げます。また、新年もどうぞよろしくお願いいたします。

学校長 阪本 博只

県駅伝大会 2位

11月15日(日)に紀美野町で行われた県駅伝で見事な走りを見せ、堂々の2位となり近畿大会出場を決めました。

近畿大会は11月29日(日)奈良県橿原市の総合運動公園で行われます、県大会以上の見事な走りを期待しています。

1区楠本凧 2区安井菜緒 3区寺本桜 4区楠本風花 5区鈴木杏奈
区間賞

